



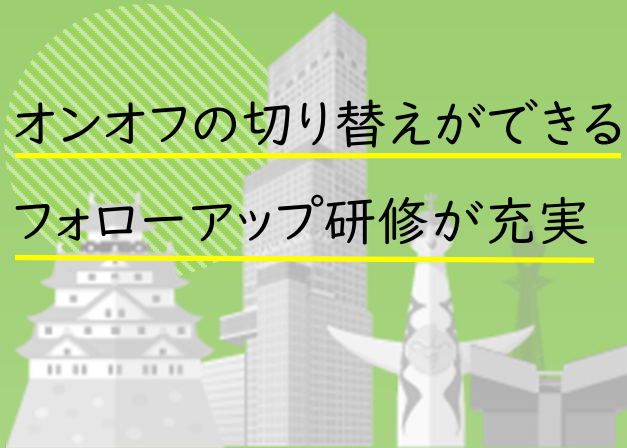
三谷 理央

Mitani Rio

国税専門官 平成26年採用

大阪国税局 総務部

オンオフの切り替えができる フォローアップ研修が充実



Question

1

現在の仕事内容について教えてください。

私は総務部人事第二課に所属しており、主に人材育成に関する業務を担当しています。人材育成のメインテーマである「若手職員の人材育成」について、税務署で働く若手職員たちがどのように感じながら仕事をしているのか、また人材育成について何を求めているのかを探るため、税務署へ出向き、若手職員や若手職員の上司と話す機会を設けたりしています。実際に現場で働く職員たちの声を聴き、それを人材育成につなげるためには何が必要かを考え、常に新しい視点に立つことを心掛けながら、日々業務に従事しています。



Question

2

どのようにして仕事と子育てを両立していますか。

2人の子どものうち1人は未就学児のため、「育児時間」という両立支援制度を利用して、本来の勤務時間である7時間45分を1時間30分短縮して勤務しています。勤務時間を短縮し、早めに帰宅できるので、保育園への送迎や、その後の夕食、入浴や就寝が遅くなることもありません。勤務時間が短いことで仕事が回らないときは、上司や同僚の方々が快くサポートしてくださるので安心して働くことができています。また、休日は子どもと過ごす時間を大切にすることで、オンオフの切り替えがしっかりできています。



Question

3

育児休業取得後に職場復帰する際のフォローアップ体制について教えてください。

私は育児休業からの復帰後、法人税等の調査事務に従事することになっていましたが、育児休業中に法人税法等の改正や事務処理手続等の変更があったため、育児休業取得前と同じように勤務することができるのかと、様々な不安を抱えていました。しかし、法人税法等の改正や変更された事務処理手続について、フォローアップ研修（育児休業等を取得した職員に対する研修）がありましたし、業務を行うに当たっての不明点は、上司や同僚が丁寧に教えてくれましたので、スムーズに職場に復帰することができました。



Message

私は要領が良い方ではないため、国税の職場に入るまでは、仕事とプライベートを上手く両立できるかなという、漠然とした不安がありました。

しかし、実際に国税の職場に入ってみると、仕事と育児の両立支援制度がしっかり整っているだけでなく、周囲の方々の理解もあって、職員一人一人にとって非常に働きやすい職場環境だと感じました。私自身、実際に子育てをする立場になり、両立支援制度を利用している現在も、周囲の職員の方々の支えのおかげで、日々やりがいを感じながら仕事をする事ができています。

仕事とプライベートを両立させたい方、是非国税の職場を目指していただき、私たちと一緒に働きましょう！